

セキュリティの共通問題と、セキュアな開発手法とその評価

大久保 隆夫^{1,a)} 吉岡 信和^{2,b)}

概要：スマートフォンをはじめとする高機能携帯端末の普及、ビッグデータ利用の推進などを背景として、プライバシーにも配慮したセキュアなソフトウェア開発が求められている。これまでにセキュアなソフトウェア開発の手法が提案されてきたが、開発現場への適用が進んでいるとは言い難い。その1つの理由として手法を評価するためのベンチマークとなるソフトウェア開発事例が存在していないことがあげられる。この問題を解決するために提案者らは、セキュリティの共通問題の開発を進めている。本ワークショップでは、共通問題に関するチュートリアルを行うとともに、セキュアな開発手法の提案、セキュアな開発手法の評価、セキュアな開発手法に関する教育や教材など、ソフトウェアセキュリティに関するポジションペーパーを広く募り、議論を行い、ソフトウェアセキュリティ分野の発展に寄与することを目的とする。ポジションペーパーには、下記7件の投稿があった。本ワークショップでは、共通問題とは何かについてチュートリアルを実施後、ポジションペーパー発表(各自10分程度)を行う。また、参加者にセキュアな開発手法、および共通問題の実効性を体験してもらうため、共通問題を用いた開発手法の演習を行う。その後、その結果を元にディスカッションを行う。

1. 討論リーダー

大久保 隆夫(情報セキュリティ大学院大学), 吉岡 信和(国立情報学研究所)

2. 討論形式

研究分野概観(チュートリアル), 技術討論(参加者による自由討論)などを組み合わせる

3. プログラム

- 10:00-10:05 オープニング
ワークショップ趣旨説明(大久保 隆夫)
- 10:05-10:45 共通問題チュートリアル(大久保 隆夫)
- 10:45-12:00 ポジションペーパーの発表: 各自10分
 - 齊藤 大仁(東京学芸大学大学院): 可視化されたソフトウェアセキュリティ知識を活用したセキュアなソフトウェア開発のための学習支援環境
 - 山本 美聡(早稲田大学): OSSにおけるセキュリティパターンの特長
 - 小橋 孝紀(早稲田大学): モデルテストによるセキュ

リティ設計パターンの適用検証

- 伊藤 百合菜(早稲田大学): セキュリティパターンの研究に関するシステムティックマッピング
- 芳澤 正敏(早稲田大学): テストテンプレートを用いたセキュリティ設計パターンの実装の適用検証
- 海谷 治彦(神奈川大学): 複数の活動にまたがるシステムのためのセキュリティ要求分析手法
- 吉岡 信和(国立情報学研究所): プライバシとセキュリティの要求工学の統合化するフレームワーク
- 12:00-13:30 休憩
- 13:30-17:00 共通問題を使った演習
 - 開発手法のレクチャー, 簡単な例題の演習
 - 共通問題による演習
 - 議論
- まとめ

¹ 情報セキュリティ大学院大学
2-14-1, Tsuruyamachi, Kanagawa-ku, Yokohama 221-0835,
Japan

² 国立情報学研究所 GRACE センター/総合研究院大学院大学
2-1-2 Hitotsubashi, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-8430, Japan

a) okubo@iisec.ac.jp

b) nobukazu@nii.ac.jp